

町政を問う！

一般質問

周防大島町
議会チャンネル



5人が登壇

一般質問は、議員が町長等に、町政全般について、政策提言や事務・事業の執行状況、将来の方針等を質すものです。

うら べ とも こ
占 部 智 子 議員

質問：町長・町議選の選挙公報を

町長

全国の町村も約半数がいろいろな工夫をして発行

実現できるよう検討を進めたい

問 町政提言に「移住後初めての町議会議員選挙では、候補者を比較して選ぶことができず、白票となりました。選挙公報（候補者の経歴や政見などを記載したもの）がほしい。」という声が届いています。

約半数の町村では発行しているので本町の選挙でも発行すべきでは？

答 5日間という選挙期間の中で、原稿確認・印刷・配布を投票日の2日前までにしなければならず、配る行政連絡員の負担もあるため、慎重に検討したい。

問 全戸配布以外に人の集まる場所への配架、ウェブ上での公開など工夫している町村もあるので先行事例を調査研究し、方法を考えていただきたい。

答 調査研究を進め、実現できるよう検討を進めたい。

その他の質問：上関中間貯蔵施設建設計画、体育館の空調整備

次回町長・町議会議員選挙からの実施を！

やま ね こう じ
山 根 耕 治 議員

質問：大島大橋の今後について

町長

町の考えは？

より良い選択ができるよう県と対話を重ねていきます

問 大島大橋は寿命を延ばしながら使っていく計画ですが、貨物船衝突事故で長期の断水と通行規制を経験した町民は不安を感じています。

大島大橋の今後について国や県と協議する場が必要と考えますが、町の考えを伺います。

答 県の橋梁長寿命化計画による予防的個別補修を見守っています。進捗状況を確認しながら良い選択ができるよう県と対話を重ねていきます。

提案：広島県では1961年に音戸大橋が開通しましたが渋滞緩和・防災・地域活性化の目的で2013年に第2音戸大橋が架かりました。大島大橋も視点を架け替えから交通路の二重化に進め、国道437号線のバイパスを整備して交通路を確保するよう町が主体となって提案すべきと考えます。



JR大島駅からの大島大橋

た なか とよ ふみ
田 中 豊 文 議員

歯科検診の随意契約の
手続きと説明責任

本人の希望により、質疑応答の要旨は掲載していません。
YouTubeの周防大島町議会チャンネルではご覧いただけます。

やま なか まさ き
山 中 正 樹 議員

質問：避難所における「トイレカー」の導入

町長

迅速に移動・設置が可能

災害時における優先的な
提供を要請

問 迅速に移動・設置が可能で、断水下でも速やかに利用できる「トイレカー」の本町での導入、または民間事業者や他自治体との協定（特殊車両等の派遣連携）による配備体制の構築についての見解を伺います。

答 トイレ確保・管理計画は未策定ですが、災害時のトイレ確保は健康や衛生面から重要と認識しています。

トイレカーや仮設トイレは購入・維持費の観点から協定事業者へ優先協力を要請する考えです。

他自治体とは「山口県及び市町相互間の災害時応援協定」に基づき、車両等の提供を要請していきます。



しろ とり のり こ
白 鳥 法 子 議員

質問：停電を防ぐ事前伐採、進むか

町長

停電予防のための中国電力との
事前伐採協議、進んでいるか

情報交換止まりで
箇所選定は未着手

問 中電NWとの災害協定には、災害発生時だけでなく、停電を未然に防ぐ「事前伐採」に向けた協議も盛り込まれています。協議は進んでいますか。

答 協定に盛り込まれて以降、町は国の説明会に参加しています。連絡体制の確認や被害想定箇所の情報交換はしていますが、倒木の可能性は町全域に及び、具体的な箇所の選定には至っていません。

問 全国的には電力会社と自治体で伐採箇所を役割分担する例や、自治会の伐採に補助金を出す例もあります。

財源も含め、今後の対策と連携先をどう考えますか。

答 何から着手すべきか模索中だが、オレンジロードなど手をつけられる箇所からという認識は共有できています。

経費面は今後詰めて研究したい。

協定は締結して終わ
りじゃない。
今が動くとき。防災
会議や自治会と共に考
えて。

その他の質問：2030へ、働く場づくりと人材育成